

2010年(平成22年)5月1日 土曜日

ハイチ地震被災者の心ケアへ

少年野球2チーム、今夏派遣

国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市)は、1月のハイチ大地震の被災者支援のため今夏、岡山、広島県から少年野球チームを派遣し、現地子どもたちとスポーツ交流大会を開く。心のケアが目的。市民を主役とした復興支援活動を目指す。

AMDAは世界各地で医師ら専門家が被災者支援に取り組んでおり、市民が直接参加する復興支援は初めて。ハイチ大地震では同国と、隣国のドミニカ共和国に延べ約30人を派遣。医療活動を展開する中で、精神的ケアについて検討してきた。

計画では8月中旬以降、ドミニカで

AMDA 岡山、広島から

開催。両県から小中学生の2チーム、大阪府からサッカー1チームの派遣を調整している。菅波茂代表(63)ら総勢50人規模。現地のAMDA調整員やドミニカ日系人協会青年部などが受け入れ態勢を整える。ハイチ、ドミニカからは計3チーム以上が参加する予定。

大会は2年に1回、10年間の継続が目標。菅波代表は「スポーツを通じて被災者の心を癒やし、復興の力になると期待している。『市民参加の人道支援外交』として、新しい国際貢献の形にしたい」と話している。

(伊丹友香)